

議会だよ！入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No.143
2007年10月27日



はなれちゃダメよ！入場行進(上原保育所)

9月定例会

舟見・野中統合保育所の整備へ 補正予算	2P
常任委員会視察記 (山梨県、新潟県)	4P~5P
認知症デイサービスセンター整備に支援 (委員会レポート)	6P
町政を問う 一般質問(7議員)	7P~13P
入善町に移り住んで・入善むかし話	14P

入善町民会館 ホール棟 外部改修工事に着手

9月議会の
あらまし

9月議会は、4日から14日までの11日間開会し、町長から提案のあった平成19年度補正予算2件、条例の一部改正議案3件、新川広域圏事務組合規約の変更や工事の請負契約、教育委員会委員の任命の同意、議員提出議案2件を審議し、すべて可決した。また、請願3件を審査したほか、7日に一般質問が行われ、7人の議員が質問に立ち、論戦が交わされた。

補正予算の概要

統合保育所整備に

2750万円

来年度建設予定の舟見・野中統合保育所の用地を取得し造成工事を行う。

在宅介護支援事業に

1000万円

地域密着型介護サービスとして、新たに認知症対応型デイサービス施設を設置する事業者に対し助成を行う。

公園整備事業などに

956万円

旧山本医院跡地を活用して、まちなかの住環境に適した公園整備や、墓ノ木自然公園のこけし橋改修などを行う。

そのほか、防犯灯設置補助の増額、園芸振興強化のための支援、学童保育指導員増員、町道改良舗装の実施、あぐり館に陶芸用窯の設置などを行う。

このことにより、一般会計で7906万円の補正となり、総額は105億985万円となった。



コスモホールの外壁改修

条例の一部改正

郵政民営化法の施行などに伴い、個人情報保護条例など3条例の一部改正を行った。

新川広域圏事務組合で設置していた休日夜間急患医療センターは、黒部市民病院内の新川医療圏小児急患センター開設による利用者の減少により、平成19年3月末で業務を廃止した。

このことから新川広域圏事務組合規約の一部変更を可決した。

工事の請負

町民会館コスモホールの外壁改修などを行うため、次の工事請負契約について可決した。

入善町民会館ホール棟外部改修工事請負契約

請負者 廣川建設工業株式会社
請負金額 4168万円

議員提出議案

国民が安心できる食の安全を求める意見書

アメリカ産牛肉のBSE問題など、食品の安全性をめぐる問題が発生していることから、食の安全・安心が確保されるよう国に意見書を提出する。

賛成全員で採択とした

国内における食糧自給率向上に向けた農業施策の強化を求める意見書

良質な食糧を安定的に供給するため、国内生産を拡大して食糧自給率を向上させるよう、国に意見書を提出する。

賛成全員で採択とした

教育委員会

委員の任命について

平成19年10月8日で任期満了となる米島秀次氏の後任として、柳澤功氏の任命に同意した。



柳澤 功氏

入善町上野

請願

アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める請願

請願者 農民運動富山県連合会

アメリカ産牛肉の輸入時における全箱確認を継続し、月齢制限など輸入条件の緩和を行わないことなどを求める請願。

賛成全員で採択とした

日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と、自給率向上に向けた施策の強化を求める請願

請願者 農民運動富山県連合会

FTA・EPA促進路線を転換し、国内生産を拡大して食糧自給率を向上させるための施策を強めることの請願。

賛成全員で採択とした

海洋深層水複合施設に関する請願

請願者 飯野地区海洋深層水対策協議会

良質で豊富な「水」と「海洋深層水」を最大限に活用した複合施設整備の実現を求める請願。

継続審査とした

平成18年度決算の審査について

平成18年度入善町一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の審査について、次期12月定例会まで決算特別委員会を設置し、審査することとした。

委員は次のとおり

委員長	五十里 隆章
副委員長	九里 郁子
委員	山下 勇
〃	大橋 美椰子
〃	松澤 孝浩
〃	長田 武志

視察記

山梨県

8月1、2日

総務常任委員会

温暖化防止対策のために新エネルギーの活用が求められている。

入善町では、水路が張り巡らされ、年間を通じて豊富な水が流れている。これを発電などに活用できないか、視察、調査した。

市役所敷地内で小水力発電 〈山梨県都留市〉

都留市では、2006年より、市役所敷地内を流れる水路「家中川」で、小水力発電を行っている。

同水路の幅は約3メートル、水量が豊富なため水力発電が可能なもので、直径6メートルの木製の水車は、最大で20%を発電できる。



直径6mの木製水車（ドイツ製）

発電した電気は、市役所の電力に使われ、電気の節減は、最大で年間170万円、二酸化炭素の削減量は80%を見込んでいる。

街のシンボルとして県内外から見学者も多く、観光の一役を担っている。加えて「家中川」などの清掃も含め、市街地の美観づくりに住民の意識

が高まっている。

同市では、01年には、「都留市地球温暖化対策実行計画」を策定し、電気使用量の削減や低公害車の導入などによる二酸化炭素使用量の削減に取り組んできた。

03年には「都留市新エネルギービジョン」を策定し、太陽光、水力などのエネルギーの活用を検

討してきた。

住民の行政参加への意識を高めるために、水力発電設備にかかる財源の約3分の1を、市民参加型のミニ公募債として募った。

入善町も水の豊かさでは負けていない。音の問題やゴミの問題、年間を通じた水量の確保など、考慮しなければならぬ点もあるが、検討する価値は十分にあると考える。

また、環境対策には、住民参加が大切であり「市民参加型ミニ公募債」は意義があると考える。

「神秘の湧き水」に 観光客100万人 〈南都留郡忍野村〉

忍野村に「神秘の湧き水・忍野八海」がある。日本のシンボル富士山が四季折々に姿を変え、見

る人々に感動を与える。

また、霊峰富士の胎内より湧き出る8つの泉は、昔から「神の泉」と崇められ、いくつもの伝説が語り継がれている。

水面に映し出される富士山は、訪れた人々に、水本来の姿と護るべき美しさを訴える。国内外から観光客が途絶えることはない。

水質・水量・保全状況・景観の良さから全国名水

百選に選定され、国の天然記念物にも指定されている。

扇状地より湧き出る豊富な水量・水質とも忍野村に負けないわが入善町も、今、湧き水を活かして「ワサビ生産」へと地元が動いている。

沢スギや湧水群など、立山連峰のパノラマを背景にした自然豊かな入善町に、観光客が足を運ぶよう力を注ぎたい。



忍野八海の説明を聞く委員会

視察記 新潟県 8月23、24日

産業教育常任委員会

町の農業をめぐっては、米価の低迷による農家収入の減少や、大豆の連作による地力の低下が懸念されている。

こうした問題の解決の一助とするために、イネによるバイオエタノールの生産、及び「食と農の資源循環型社会づくり」の視察、調査した。

放棄田でバイオエタノール米を生産 (JA全農にいがた)

「JA全農にいがた」では、国のモデル事業として、イネを原料としたバイオエタノールの製造と利用の実証を行っている。

その内容は、①多収品種の原料イネを栽培。②バイオエタノールの製造。③3%混合ガソリン

の製造、販売。これらを一貫して行うものである。

新潟県では、農家1戸あたりの耕作放棄田面積は、22㌥にも及ぶ。

こうしたことから、畑作物への転換が困難な地域の水田の有効活用を図り、農地・水・環境を将来にわたり良好な状態で保全するためとして、この事業を始めた。

2006年には、2つ

の生産組織で「北陸193号」(飼料用イネ品種)を83㌥で栽培、10㌥当たり880㌥の収量を得た。ちなみに主食用米は県平均で508㌥である。

エタノールの製造は、年間1000㌥以上を目標としており、08年にエタノール製造プラントを着工し、11年に本格稼働する計画である。

急がれる地球温暖化対策



国のモデル事業の説明を聞く委員会

策や将来的な化石燃料の枯渇、国土の保全などを考えれば、重要な取組みであるが、現時点では課題が多い。

例えば、原料玄米の単価が低く、10㌥当たりの農家収入は、産地づくり交付金などを含めても6万3600円である。

また、プラント建設費などの経費を含めれば、エタノール1㌥の生産コストは350円で、事業としては成り立たない。

こうしたことから、事業を継続するには、行政の支援及び政策の転換が不可欠と言える。

家畜、生ゴミなどで堆肥づくり (新潟県新発田市)

新発田市は「食と農の資源循環型社会づくり」事業で、家畜の排泄物や家庭の生ゴミ、食品工場での残さなどを、3つの有機資源センターで堆



有機資源センターで堆肥化を視察

肥に変え農家に提供している。

同市では、約90戸の畜産農家があり、耕畜連携が行いやすい。

資源の地域内循環を行い、農業や化学肥料を減らし、高品質で安全・安心な農産物の安定供給を目的にしている。

家庭の生ゴミの収集は、今のところ市内の5%に当たるモデル地区を定めて行っている。

また、堆肥を使った水稲栽培面積の目標は1100㌥で、現在は500㌥で利用されている。

地力の増強に有機資源を活用していることは優れた取組みと思う。

ただし、畜産業が盛んな地域だから可能な事業といえる。

入善町では畜産業は盛んではないので、独自の地力増強の取組みが必要であろう。

常任委員会レポート

総務 常任委員会

地域介護・福祉空間
整備事業費の内容は

Q 地域介護・福祉空間整備事業費補助金の内容を説明せよ。

A 新川地域介護保険組合の事業計画に沿った地域密着型サービスの施設整備事業者に対する補助金である。NPO法人アットホーム新川が実施する「認知症対応型デイサービスセンター」整備に支援するもので、平成20年4月に飯野地内の開所を目指す。

舟見・野中統合保育所の整備計画は

Q 統合保育所の建設スケジュールはどうか。

A 10月中旬から土地造成に入る。新年度から本格的に着工し、21年3月完成を目指す。

統合後の野中保育所の有効活用を

Q 統合後の野中保育所を児童館的に利用できないか検討せよ。

A 野中保育所は老朽化し危険であり、建替えに合わせて統合新設するものである。再度使用する場合、耐震改修が必要であり取壊す。

こんな意見も

◎電柱のない箇所でも防犯灯の設置要望がある。区長会とも十分相談し計画的に進めよ。
◎統合保育所の整備にあたっては保育士、調理師の意見も取入れよ。

産業教育 常任委員会

園芸特産振興費の増額補正の目的は

Q 園芸特産振興費300万円の補正目的は。

A 町を代表する園芸特産品であるチェリーリップ球根の優良主力品、17品種54万5千球を購入するため、一部を補助する。

農村環境改善センターへの補正は

Q 農村環境改善センター管理運営費の補正の内容は何か。

A 飯野学童保育児童の入所者が46名と前年比10名増えたことから、指導員1名を増員したための補正である。

下水道工事低価格落札の管理面の不安は

Q 下水道工事で、低価格で落札されているが、品質・管理面で不安はないか。

A 安全、品質、工程管理などの施工管理・監督を強化して対応する。

こんな意見も

◎学童保育児童が増えたことから、施設拡充などの対策を講じよ。
◎公共マスを設置した場合の下水道接続の義務について、理解されていない方への周知に努めよ。
◎まちづくり交付金を利用し、名水の町をアピールするよう検討せよ。



整備が進む下水道工事

「防災情報」キャッチしにくい人への対応を示せ
町長 防災行政ラジオなど、あらゆる手段を
講じて伝達



普及を目指す防災行政ラジオ

問 10月1日から「緊急地震速報」がスタートする。
防災行政無線やラジオ、パソコン、携帯メールなど情報の入手方法は多い。

しかし様々な障害があつて情報入手の困難な方も少なくない。

どう対応するのか。

米澤町長 被災対策はどれをとっても重要だ。避難情報を含めた住民への情報伝達が最も重要だ。

対策の一つとして、防災行政ラジオの普及を始めており、町民の理解を求めている。

警察・消防車両による広報、ケーブルテレビ・インターネットの活用、自主防災会・企業との連携など、あらゆる手段を講じる。

災害時要援護者へは、台帳とマップを活用し、体制の構築に努めたい。

青色防犯灯の設置求む

効果確認し導入図る

問 色彩心理学上、青色は癒しの色とされている。感情を静め、心を落ち着かせることから「犯行の意欲を萎えさせ、犯罪抑止の効果がある」とされている。

調査され設置されたい。林副町長 イギリスで街路灯をオレンジ色から青色に変えたことで、犯罪発生件数が減少し、世界的に注目された。国内でも、設置による犯罪の減少が報告されている。

全国の事例を参考にし、公共施設などで試験設置をし、効果が確認できれば、随時導入を図ってきたい。

ハート・プラスマークの設置が必要

広報などを通じてマークの普及に協力する

問 心臓・腎臓・呼吸器・膀胱または、直腸・小腸・免疫機能などの機能障害を持つ人を、内部障害者としている。

18歳以上で85万人、障害者の4人に1人にあたる。

見た目は健常者と変わらず、社会的認知度が低く、日常生活において苦しい体験をされている。視覚的に示す「ハート・プラスマーク」の普及啓発への具体的な取り組みを求める。

笹島健康福祉課長 町には身体障害者手帳所持者の約4分の1、298人が内部障害者である。

内部障害者である「ハート・プラスマーク」を提示し、車の駐車、設備の利用などで理解されるよう、広報などを通じてマークの普及に協力する。

認知症サポーターの活動を求める

共助の心と行動を養い自分のできる範囲で

問 「認知症サポーター100万人キャラバン」事業が開始された。

サポーターの現状、次期養成講座などを示せ。健康福祉課長 町では458人の方が受講し、受講者にはオレンジリングと呼ばれるブレスレットを渡している。

今後500名の新たなサポーター誕生を見込んでいる。

自分のできる範囲での活動が重要だ。



大橋 美椰子 議員



全線開通が待たれる都市計画道路 上野吉原線

幹線道路網整備計画は 住民ニーズの変化に合わせて見直しているか 町長 総合計画のローリング時に見直している



中瀬 範幸 議員

問 昨今、町は大きく様変わりしている。入善町幹線道路網計画は住民ニーズを反映し、総合計画とリンクさせて見直しているか。

町長 町はサンリツやスマートIC、「うるおい館（仮称）」などにより、道路情勢は大きく変化している。

総合計画ローリング時に再評価・検討を実施、時代のニーズにマッチした道路計画に見直しをかけている。

検討委員会には民間代表、第三者機関より参加いただき、町民ニーズを反映したパブリックコメントを採り入れている。

道路や河川の整備要望の状況と実施決定は

要望117件、予算を見て危険箇所から実施

問 地区からの道路や河

川などの整備要望の状況と実施決定の方法は。

福島建設課長 町単独で対応する生活関連道路及び用水などの修繕要望件数は3カ年で117件、5億8000万円余である。

予算の状況を見ながら危険性の高い箇所や必要性を考慮して、取掛かる順位や時期を判断している。

下水道の進捗と起債の返済計画を示せ

整備率66%で償還は平成55年まで

問 下水道事業の現在までの進捗状況と整備完了の見通し及び、財政計画と起債の返済計画について

て示せ。
西田下水道課長 平成8年着工から11年経過、下水道整備率66%、うち水洗化率66%で、総合計画に沿って着実に進捗している。

整備完了は平成25年と計画している。

総事業費は経費の節減や計画変更などにより、当初の435億円から366億円となり、財政状況は当初に比べて良い方向に向かっている。

起債の返済については事業終了から30年後の平成55年度までに償還する計画である。

合併処理浄化槽からの切り替え義務は

維持費も有利、下水道へ接続いただきたい

問 すでに合併処理浄化槽を設置している家庭の、下水道への切り替え義務はあるのか。

下水道課長 町全体を下水道計画区域として位置づけている。

一般家庭で設置済みの合併処理浄化槽についても、耐用年数や維持管理費も含めて総合的に比較検討の結果、下水道のほうが有利である。

下水道が整備されればすみやかに浄化槽を廃止し、下水道へ接続していただきたい。

高齢者だけの家庭への接続義務は

一概に基準を示すのも困難、相談を受ける

問 高齢者だけの家庭や跡継ぎのない家庭にも接続を義務付けるのか。

下水道課長 一概に基準を示すのは困難であり、接続猶予もやむをえない事もある。

また、接続への助成制度、減免制度もあり相談を受け対処する。

職員の人事異動は公正に

総務課長

恣意的にならないよう公平で公正に
対処する



新規採用者の辞令交付式

問 公務員の給与構造の
抜本的改革は、昇給額や
昇格スピードに差をつけ
ることが狙いではない。
職員の士気を低下させ
ることなく、保持増進さ

せることは、住民サービ
スの向上のために重要な
ことである。

10月の人事異動では、
恣意的にならないよう、
公平で公正に対処せよ。

西川総務課長 一組織は
人なり」と言われるよう
に、人事管理のあり方
いは、直接、町の行政
の動向を左右するもので
あるだけに、常にこれに
対処することが求められ
ている。

このため、職員を適材
適所に配置し、事務事業
を円滑に遂行するととも
に、職員のレベルアップと
士気高揚を図る人事異動
を行う必要がある。
一方、民間企業では、

人事制度は年功序列から
能力型へと変わってきて
いる。

職員の能力と意欲向上
のため、行政においても
昇任のみならず昇給、昇
格、配置換えに際して
も、勤務評定に基づくこ
ととしている。

10月の異動を含め年度
途中の異動要因として
は、職員の中途退職や休
職、休業などに伴う異動
先の欠員の状況、法令な
どによる組織変更、事務
事業の大きな変更など
様々な要因が考えられる。
勤続年数や年齢、性別
などに左右され、恣意的
にならないよう、公平で
公正に対処する。

「清潔、公平、公正」を
行動で示せ

現在もいささかも変わ
らない

問 町長は「清潔、公平、
公正」をモットーに取組
んでいると言っている。

しかし、町民からは、そ
の意味を理解しているの
かとの声を聞く。

もっと、町民にわかり
やすく行動で示せ。

町長 私は常々述べてい
るように「清潔、公平、
公正」を基本とし、町政
の執行にあたっている。
「心の通い合う、夢の
もてる、魅力あるまちづ
くり」を目指すものであ
る。

このことは、今現在も
いささかも変わらない。
確認申請をしない建築
物があると聞くが

指摘の場所がわからな
い

問 10㎡以上の建築物を
建設しても、建築確認申
請が提出されていない建
物があると聞く。

どう対応するのか。
建設課長 場所はどこか。
指摘場所がわからない。



上野 等 議員



本多 幸男 議員

中部清掃センター・新施設の供用開始は 町長 平成21年度で建設完了、22年供用開始

問 新川広域圏事務組合
中部清掃センターの新施設建設について、設計から供用開始までの工程表を公式発表されたい。

町長 地元板屋地区と入善町、新川広域圏とで「新・し尿処理施設建設推進検討委員会」を設置した。

先進施設の視察などを行い、新処理施設の検討を進めている。

平成19年に基本設計、20年度実施設計、工事着工、21年度で建設工事完了、22年度より供用開始のスケジュールで進める。

この件については、新川広域圏議会でも質問がなされており、沢崎理事長は、「1年でも1カ月でも早く着工できるような頑張っしていきたい」と答弁されている。

地元の皆様には、悪臭や黒煙などで大変迷惑をかけている。

この施設を再度板屋地区に受け入れて頂く苦渋の選択をされており、それに伴う条件なり要望もあると思う。

町としても新川広域圏と今後十分に協議を行い、住民の皆様のご意見に沿えるよう対応していきたい。

処理場から下水道に 接続する計画は

来年度に説明会 21年度中に完成予定

問 昭和38年の稼働以来44年間、悪臭と黒煙公害に苦しめられた迷惑施設

の改善に向け、ようやく一步を踏み出した。関係者の労苦に敬意を表する。

新・し尿処理場から入善町下水道に接続する実施計画と地元説明会をいつ開催するか示されたい。

町長 現在、町は下水道事業変更認可の手続きを行なっている。

認可後、板屋地区と周辺地区の下水道管渠の実施計画を行う。

平成20年度に説明会を開催し、秋以降で工事に着工、21年度で完成させ供用開始したい。

低コストで高品質の入 善米をどう確立するか

農薬節減や栽培履歴管 理の徹底を推進

問 農業を基幹産業とする入善町に「農業技術者

協議会」がある。いかにして生産コストを下げ、品質を向上させるか真価が問われている。

入善産米の高価格安定販売と低コストで高品質、安全な米づくり農業を確立するために、農業公社の役割りを向上させ、町も本格的に取り組むべきでないか。

寺崎農水商工課長 入善町は「水田農業ビジョン」で農薬節減米、高品質でおいしいコメ作り、栽培履歴管理の徹底による安全な米づくりを柱としており、さらに情報発信を強化する。



新施設の建設が待たれる中部清掃センター

保護者は納得していない

学校給食は自校方式を貫くべき

教育長 保護者などの理解を得られるよう努めていききたい

問 当局が進めようとしている共同調理方式を保護者は納得していない。自校方式を貫くべきだ。米島教育長 保護者など関係者の理解を得るよう



敬老の日のプレゼントづくり (西部児童館)

努めていききたい。

問 中国産食材に不安が広がっている。学校給食でどう対応するのか。教育長 使用中止が6品目、産地変更が5品目ある。

問 自給率向上と安全な食料供給のために、国が農業に適正な支援をするよう強く求めるべきだ。副町長 近隣市町や県の動向を踏まえ検討したい。

統合保育所の子にも炊きたてのご飯を

関係機関と協議・検討したい

問 舟見・野中統合保育所の給食は、隣接するひばり野小学校で調理する

計画だが、主食を持参している3歳以上の子どものご飯も一緒につくったかどうか。健康福祉課長 関係機関と協議・検討したい。

山手にも児童館を

公民館のミニ児童館で対応

問 子どもたちが安全に過ごす場として、児童館の果たす役割は大きい。舟見・野中の統合保育

所に児童館を併設してはどうか。山手に1カ所あってもよいのではないか。健康福祉課長 町は、児童館を現在の2カ所、ミ

ニ児童館を公民館などに6カ所整備することを目指している。放課後児童対策は、かがやき教室や放課後児童クラブを全校下で開催している。

要望を見極め、子育て支援に努めていく。

障害者の一律1割負担の撤回を国に求めよ

国の動向を見極めて対応

問 国が推し進めてきた「構造改革」は格差を広げてきた。その一つが障害者自立支援法である。障害者がサービスを利

用する際の、一律1割負担の撤回を国に求めていくべきだ。健康福祉課長 自立支援法は来年度に見直しが予定されている。

国の動向を見極めながら、障害者の要望に十分耳を傾け取組んでいく。

カシナガ対策に本腰を

近隣市町と連携を密にして対応したい

問 ミズナラやコナラが枯れるカシノナガキクイムシ(カシナガ)の被害が急増しているが、どう対応するのか。ナラ類の枯死の拡大で、木の実が少なくな

り、クマの出没が心配されている。住民の不安にどう応えるか。町長 被害木は約190本。急傾斜地が多く、すべての伐採・駆除は困難。近隣市町と連携を密にして対応したい。

クマ電気柵の設置や草刈事業など万全の対策で望む。

問 住宅建築にもっと地場産木材が使えよう、輸入材との価格差の補てんを県に求めるべきだ。町長 機会あるごとに県に求めていきたい。



九里 郁子 議員



鬼原 征彦 議員

墓ノ木自然公園第3キャンプ場の管理は 町長 自然との調和のとれた管理

問 第3キャンプ場は、平成14年度に散策路の整備が行われたが、現状は自然のままに放置されている。散策路など必要最小限の整備はどうか。

町長 第3キャンプ場は平成13年度に学識経験者や地元区長などで構成する有識者会議が開かれ「自然をできるだけ残す」整備方針が出された。14年度に事業費1700万円をかけ自然散策路1100mの整備を行った。



草刈り直後の第3キャンプ場散策路

しかし管理範囲は利用者の多い第1、第2キャンプ場が中心で、第3キャンプ場は、草刈はあまりしておらず、雑草が伸びて散策路は利用しにくい状態になっている。全国有数の野鳥の宝庫でもあり、貴重な自然を次世代に残すことも重要

である。自然との調和のとれた管理に取組む。

**地球温暖化対策
町の体系的な施策は
地球温暖化防止実行計
画の策定を進める**

問 本町の総合計画では、地球温暖化防止実行計画の策定を挙げている。

町の体系的な計画を策定し、具体的なCO2削減の目標値を設定せよ。金沢住環境課長 次世代の子どもたちのために、美しい自然と環境を残すため、現在、地球温暖化防止実行計画策定の作業を進めている。

庁内の取組みとしてISO14001を導入し、電気、用紙、水、燃料などの使用量、環境に配慮した公共工事を推進している。

ISOの環境実施計画登録表に目標値を設定し、CO2の削減に努めている。

**「チーム・マイナス6%」
の町民参加は
環境保健衛生協議会を
中心に参加**

問 地球環境改善への取組みとして「チーム・マイナス6%」運動があるが、町民参加をどのように進めるか。

住環境課長 環境省の国民運動として「チーム・マイナス6%」、富山県の「とやまエコアクト10」キャンペーンが展開されており、町でも環境保健衛生協議会を中心に30

2人の町民参加がある。家族で参加する「とやま環境チャレンジ10」には、飯野小学校や上青小学校の4年生が参加した。また、連合婦人会の協力で、マイバック運動を進めている。

**「カシノナガキイムシ」
対策は
県や近隣市町と連携を
図る**

問 「カシノナガキイムシ」の成虫の移動範囲は約6mといわれており、被害が拡大している。新川地域市町の連携はどうか。また個人所有林対策を尋ねる。

町長 被害を最小限に食い止めるため、個人所有林対策を含め県や近隣市町と連携を図り、効果的な防除方法を検討する。

75歳以上の新医療制度は企業の負担軽減のためか 健康福祉 医療費を安定的にまかなうためにも 課長 応分な負担は必要

問 来年度から75歳以上の全ての人は、新たな後期高齢者医療保険に移される。

サラリーマンなどの保険の扶養者となっていた高齢者も保険から切り離

され、新たに保険料を徴収され負担が増える。

新制度は、国民の負担増で、企業の負担を減らすためではないか。

健康福祉課長 医療費を安定的に賄い、持続可能な制度の運用のために応分の負担は必要。

問 介護保険料に加え医療保険の年金天引は、余りにも無謀ではないか。

健康福祉課長 被保険者の納付の手間を省き、徴収事務の軽減のためと理解する。

問 これまで保険料を払えなくても、75歳以上の人がから保険証を取上げることは禁止だった。しかし、新制度では取上げるとしている。これは命に

かわることで、行うべきではない。

健康福祉課長 被保険者の生活状況を十分把握するなど、きめ細かな対応に努めていく。

「景気改善」が定率減税廃止の理由だが、改善したのか
地方は、景気が回復したとは感じられない

問 国の定率減税廃止で、国民は3兆4000億円の負担増となった。

一方で大企業や大資産家には、IT投資減税や証券優遇税制などで4兆円以上もの減税だ。

「景気の改善」が定率減税廃止の理由だが、地方の景気は回復し、住民

の収入は増えたのか。
真岩税務課長 給与所得は、前年比で概ね0・2%の伸びだが、営業や農業などでは、前年並みか若干マイナスで、地方において、景気が回復したとは感じられない。

問 今年実施された税源移譲では「住民税が増え

ても、所得税が減るので増税にならない」と宣伝してきた。

しかし、退職などで大幅収入減の人は、増税になる。こうした人への救済をどう徹底するのか。

税務課長 来年7月、町に申告してもらい住民税で減額する。

問 要介護認定者に税の障害者控除を適用するよう求めてきたが、町はどこまで具体化したのか。

健康福祉課長 先行実施した他市町の基準などを参考に、年内のなるべく早い時期に、最終的な方針を決定したい。

高齢者が気軽に通院や買物ができるようバスの増車を

採算性の問題などで現行の1台体制で対応

問 お年寄りが町営バスで医者や買物に行っても、帰りの時間にバスがないので、結局タクシーで帰っている。

町営バスの台数を増やし、あさひ総合病院に行けるようにとの住民の願いに応えるべきだ。

バスの床に大きな段差があり危険だ。次の更新時には、段差のない低床バスにすべきだ。

農水商工課長 採算性の問題などを総合的に判断して、現行の1台体制で対応せざるを得ない。

更新時に段差の少ないバスを導入する方針で、十分に調査をしたい。



サンウェルでの健康度チェック



松田 俊弘 議員



地域の団結力が すばらしい

入善町に移り住んで

廣多 かおるさん

入善町道市 在住

暑かった夏も刈入れとともに終わり、運動会や秋祭りの季節を迎えました。

夫とは京都の職場で出会い、結婚して13年になります。子どもたちも、6年生、5年生、4歳にと成長し、夫の両親、おばあちゃんと愛犬レオの9人家族です。

家族の協力のお陰で子育ても楽しく、パート勤務をしています。

故郷沖繩との違いを改めて考えてみました。
まず「生水が飲み」お米やお魚がとても美味しいことです。

冬は、雪が降って除雪が大変ですが、子どもたちはスキーができて大喜びです。春になれば農作業も加わり兼業農家の忙しい毎日となりますが、

緑一色の田圃と立山連峰の景観が素晴らしい。

春、夏、秋に行われる地域の行事では、近所の人たちが協力しあう団結力がすごい。

ほかにも良い事がまだまだあります。

沖繩へも年に1回は行かせてもらっており、子どもたちは沖繩でしか経験できない事を体験しています。富山での生活を心配していた私の両親も今は安心しています。

自然豊かなこの町で、子育てができ、家族や、地域の人たちに支えられて毎日を過ごすことが出来ることを感謝しています。

これからも入善町の住民の1人として、家族みんなが元気で楽しく生活できるように過ごしていきたいと思えます。

入善のむかし話 (森清松編より)

じょうべのま

田中の浜の近くに、道具沢というところがあります。村の人たちは、「沢田の殿さまの城あ」といっています。

そこから、土器や土鏝、大きな柱穴や柱の根が百本以上もほり出されました。特に、下駄、銀のかんざし、風字硯とよばれる大きな硯、板ではどられた細い小川、物見やぐらの柱あと、「西庄」と墨で書いた土器、「田中」と書いた土器、木輪(木の板に書いた手がみ)など、珍しいものができました。

柱穴を調べてみると、五回ほど建てかえられ、そのうち一回は火事でもえていることがわかりました。もし、二十年に一回建てかえたとする

と、百年前から建てられていたことになり、

「西庄」は、佐味の庄の略字ですから、入善の庄(八百年前より四百年前まで)より先に、佐味の庄(宮崎・泊あたりから浦山まで)に属していたことがわかり、およそ、千年ほど前の遺跡だといわれています。



じょうべのま 遺跡

編集の窓

コシヒカリの穂が、黒部川扇状地を黄金色に染めました。今年度の収穫量は、8月の猛暑の影響で、やや不良と速報されています。収穫量の減少に加え米価の下落が予想され、農家に与える影響が懸念されます。

さて、今回の「議会だより」をもって、広報委員会のメンバーが交代する予定です。

「議会だより」を通じて町民への情報発信は、議会活動の理解を得るための重要な責務と位置付け、頑張ってきました。

2年間「議会だより」を読んでいただき、ありがとうございます。

(孝浩 記)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 元島 正隆 |
| 委員長 | 松澤 孝浩 |
| 副委員長 | 松田 俊弘 |
| 委員 | 大橋美穂子 |
| " | 長田 武志 |
| " | 中瀬 範幸 |
| " | 鬼原 征彦 |

地球にやさしい再生紙を使用しています